

いろんな質問をしてくださることが、ボランティアとして一番うれしいです



大野 公夫さん
(81 歳、山之上町)
みのかも文化の森生活体験ボランティアとして、開館当初からわらじ作りなどを訪れる人たちに教えています。

歴史が好きで、史跡調査を手伝ったことが、ボランティアの始まりかな。
今の時代は、いろいろ恵まれた時代だね。昔は、何事も骨が折れることが当たり前だったが、今の人にはそれは難しいと思うよ。
だから、「こゝろ（みのかも文化の森）」を訪れる人たちに、昔のことを覚えさせようとは思わないが、昔の生活を体験することによって、昔の人の知恵を学んでもらえたらと思うよ。

仲間からひとこと

ボランティア仲間

山浦 正男さん

大野さんは、私たち生活体験ボランティアのまとめ役として、文化の森開館当時から大活躍です。



われら、シルバーエイジ。生涯現役です

弓道歴30年。
「射」、即人生、即生活



杉山 谷子さん
(76 歳、下米田町)
教士七段。岐阜県弓道連盟副会長。
岐阜県の弓道界における女子の第一人者として活躍。

昭和49年に、当時の中濃体育館の弓道教室へ通ったのが、弓道との出会いです。
祖父が弓道をやっていたこともあり、何かの縁かと思いました。
「弓」は怖いんです。一射ごとの思いが、すぐ結果に出ています。
絶えず反省、研究、そして努力することが、最高目標の「人間完成」につながると思っています。
自然体で、基本に正しく、一射絶命の矢を射たいです。

仲間からひとこと

市弓道連盟会長 **村井 進さん**

杉山さんは、美濃加茂市の弓道界だけでなく、県の女子弓道を引っ張ってこられました。練習熱心で、弓道に対する情熱は、非常に熱いものがあります。



ゲートボール歴20年。

皆さんと、楽しくゲートボールがしたいです



大竹 なかゑさん
(90 歳、蜂屋町)
「第15回岐阜県健康福祉祭」のゲートボール競技で、大会出場者の女子最高齢者として表彰されました。

ゲートボールを始めて、20年になります。毎日「こゝろ（ゲートボール場）」で、気の合った皆さんと、汗を流すのが楽しいです。
ゲートボールの楽しみは、自分のボールを狙い通り打てたときが一番うれしいですね。

仲間からひとこと

ゲートボール仲間

右嶋 みゑ子さん

大竹さんは、私たちのお姉さんの存在で、私たちのゲートボールチームになくてはならない人です。



我が道

昔から野球が好きだったね。私は、相手投手の動きを見て、次の塁を盗む、「盗塁」が好きで、塁に出るとよく盗塁したものですよ。
今は、昔のように思い通りには、プレーできませんが、こうしてみんなと野球ができるのが、何よりの楽しみです。
雨の日を除いて、ほとんど毎朝、「こゝろ（木曽川緑地ライン公園）」で汗を流すことが、健康の秘けつと思っています。

仲間からひとこと

古希野球南部チーム

監督 **加藤 晴男さん**

私たちのチームは、名前からも分かるように70歳を越えた人ばかりですが、山田さんを筆頭に皆さん好きな野球ができるので元気ですよ。



山田 幸一さん
(86 歳、太田本町)
「古希野球南部チーム」の最高齢選手。
小学生のころ、「県岐商」の野球にあこがれ、野球を始める。

野球歴75年。
目標は、90歳まで野球を続けること